

TOUZAI

Vol.3

だより

現在、東西舞鶴で取り組んでいる「東西まちづくり公共施設ワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

協力：特定非営利法人リデザインマネジメント研究所
発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課
企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

[第3回]
会場：商工観光センター
日時：2025年10月26日(日)
参加者：22人
(うちWS参加者17人)

1 施設見学＆振り返り

第三回ワークショップの開始前に、会場である「商工観光センター」の施設見学を実施し、大きさや利用状況が異なる会議室の情報をワークの参考として収集しました。その後、テキストマイニングで前回アイデアを可視化して振り返り、ワークをスタートしました。



[ワークショップのゴール]

- ゴール1：前回の気づきに対する具体的なアイデアを考える
- ゴール2：考えたアイデアを公共施設を使ってどう実現できるか考える

2 ワークショップ

ワークショップでは3つの作業を行いました。

ワーク1：意見を組み合わせる

前回に出た「こうしたい・もったいない・ほっとけない」の意見を組み合わせることで、より良くなりそうなカタチを探ってみました。

ワーク2：具体的なアイデアを出し合う

組み合わせたものを実現、改善するための意見を出し合いました。

ワーク3：アイデアを施設で実現するための工夫を考える

出し合ったアイデアが、どの施設で実現できる？どんな工夫ができる？などを考えました。



[次回お知らせ] 「公共施設とまちの未来を描く」

日時：2025年11月22日(土) 10:00～12:00 会場：文化公園体育館

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。

詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。

3 全体共有

今回の意見共有はワールドカフェ形式で行いました。

ワールドカフェとは？

カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数で話し合い、途中でメンバーを入れ替えながらアイデアや意見を広げていく対話のスタイル



1班 中高生主体のイベント＆イベントに向けたワークショップ

- ・今あるスポーツ施設を使って中高生向けのイベントを開催
- ・イベントの準備には利用率の低い会議室などの施設を活用

2班 オンラインを活用したなんでも相談窓口

- ・オンラインを活用して、どんな人でも相談しやすい窓口を開設。
- ・施設の空きスペースを使って、地域ごとでの設置が可能。



3班 大きな交流と小さな交流

- ・利用の多い公共施設に機能を集約。24時間価値を生み出せる施設に。
- ・利用率の低い施設を一度リセット！空にすることで施設活用の可能性がアップ。



完成した模造紙は、こちらの二次元QRコードからご確認ください。



4 講評

発表の後、アドバイザーからの講評がありました。

堤先生(前橋工科大学准教授)

これまでの使い方にこだわらずに自由な発想で考えてほしい。人を集めるためには、非日常的な体験のプラスアルファが必要。

杉岡先生(福知山公立大学准教授)

新しい施設の使い方を生み出すには、みんなでルールを作りながら考える寛容さが重要。行政が提供する情報を住民や民間事業者が活用することで、新たな可能性が生まれる。

